

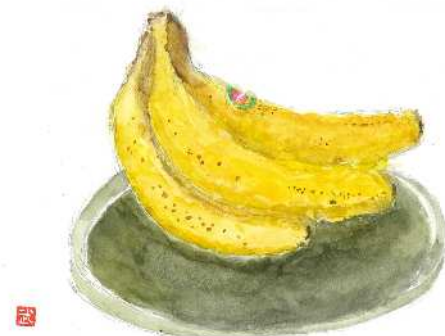
あけびだより

No. 203

2021年9月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

令和3年9月



絵画教室

菊池武明氏

「2025年問題」という言葉を聞いたことがありますか？

「2025年問題」とは、戦後すぐの第一次ベビーブーム（1947年～1949年）の時に生まれた、いわゆる「団塊の世代」の人たちが、後期高齢者の年齢に達し、医療や介護などの社会保障費の急増が懸念される問題を指します。2025年には後期高齢者人口が約2,200万人に膨れ上がり、国民の4人に1人が75歳以上になると言われています。日本で少子高齢化が進んでいることは誰もが承知のことですが、多くの高齢者を数少ない若い現役世代が支えていかなければならず、肉体的、時間的な制約が多くなるばかりか、経済面でも国民に大きな負担がのしかかります。

医療分野では75歳以上の後期高齢者医療費負担を、現行の原則1割から一定の所得以上の人は一部2割へと引き上げる具体策も出ております。また、医療を必要とする高齢者が増加する一方で、病院をはじめとする医療現場の医師や看護師不足という深刻な問題に直面します。「介護」の分野では、要介護の高齢者が急増する一方で、介護人材の不足が懸念されています。2025年には介護難民の急増が予測され、要介護者に認定されているにもかかわらず適切な介護サービスを受けられない、といったことが起こります。「人手不足の解消」のため、「65歳定年」は2025年からすべての企業に義務付けられることとなります。2021年4月には高齢雇用安定法が改正され、70歳までの就業機会の確保が努力義務となります。パートの保険加入（103万の壁）も推進しています。再就職の支援の強化や、介護ロボット・AIの開発などを推進しています。また、「病院から在宅へ」というビジョンを掲げ、保健・医療・福祉制度の中心を、医療から生活支援を重視する方向へとシフトしました。病棟の削減もはじまり、在宅医療に高い診療報酬を設定しています。積み上がる社会保障費、負担となる社会保険料、上がらない賃金、公的部門が賄いきれないので民間に、地域に、家庭にお願いしますと押し返されたような格好の「在宅」？でしょうか。『人生100年時代』とにかく年金をもらってゆるゆる暮らす事は夢のまた夢かもしれません

この2025年問題は他人事ではありません。「病院から在宅へ」「住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」という言葉に惑わされるのではなく、公的な役割をしっかりと果たしてもらい、置き去りにされる人が出ないように、一緒に考えていきたいと考えています。それには人材の確保が欠かせません。（よろしく!!）（K/R）

認定・特定非営利活動法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703
グループリビングあけびの里
TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10
Mail: info@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび
TEL 079-262-6708 FAX 079-262-6703
訪問介護ステーションあけび
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10
Mail: houkan@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実
〒670-0804 姫路市保城363番地の3
TEL079-280-6931 FAX079-280-6932
Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp
通所介護施設デイサービスあけびの輪
〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1
TEL079-284-0055 FAX079-284-0056
Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけびの実



『誕生日会』8月生まれは5名の方をお祝いしました。「じろりんライブ」で笑いあり涙ありで熱唱に感動し、また力を貰いました。お昼はちらし寿司でお祝いしおやつは手作りカップケーキでお腹も気持ちもいっぱいになりました。コメント【皆さんにお祝い頂いていつもとても嬉しいです。】



『毎日のお食事』
毎日美味しいお食事でみんなお昼が待ち遠しいです。メニューを紹介します。



『壁画花火』模様のところが難しかったです。コロナの影響でお出かけが少なくなり作業療法と言われる手先の細工が多くなりました。皆さんとてもお上手になられました。



『体操』午後からも汗を流ししっかりと体を動かしています。
『卓球』オリンピックアスリート並みの腕前?!
『歩行運動』毎日元気よくワンツーワンツー歩いています。

『朝の会』毎日皆さんからご自身のことやご家族、近所さんのニュースをお一人ずつ、発声目的も兼ねて発表をして頂いてます。人前で考えをまとめて話すのは脳の訓練にとってもいいですよ。

ある日の朝～

- ・お盆で岡山に居る大学生の孫が帰ってきたので嬉しかったです。
- ・お寺の御参りに行ってきました。
- ・孫が木魚を叩いたりお経を一緒にあげたりしました。
- ・田んぼの水を見に行き用水路の堰を外したら10メートル流された。水の勢いと怖さを改めて感じました。
- ・オリンピックをテレビで観戦、感動しました。



あけびの輪



★8月のお誕生日会は『フラハラウ オレアレア』さんに来ていただきフラダンスを鑑賞させていただきました。フラの音楽にはリラックスと癒しの効果がありとても楽しませていただきました。何よりハワイの太陽のような先生の笑顔が素晴らしく、見ているこちらまで笑顔がこぼれます。そして8月生まれのK様が「私の晩年はあけびの存在が無くてはならないものになりました。」とってください、その言葉を励みに頑張ります！



★ドレスアップ。利用者様が結婚された頃の花嫁衣装は着物が主流で、ドレスは着たことがない方が圧倒的に多いです。ドレスは女性にとって永遠のあこがれです。ドレスアップされた皆さんお綺麗でしょう！



★8月の共同作品は、夏の星空です。利用者様に好きな色紙で星を折って頂きました。五角形の星を折るのはとても難しかったですが、素敵な星空が完成しました。



★T様が、「お盆の飾り」とほおずきを持ってきてくださいました。ほおずきはふっくらした形と炎の様なオレンジ色からお盆に帰ってくるご先祖様が迷わずに帰ってこれるように提灯に見立てたそうです。また動物の野菜は「迎え盆」の際は足の速い「馬」に見立てて「きゅうり」を、「送り盆」の際にはゆっくり帰ってもらうため足の遅い「牛」に見立て「ナス」を飾ったそうです。いずれも、人々がご先祖様を大切に思う気持ちが温かいですね。

★魚釣り。朝のミーティングで“魚釣りに行きたいなあ”という声があがりました。それならばと、即席の釣り堀を作って魚釣りを楽しんで頂きました。



魚釣り



★4度目の緊急事態宣言が発令されました。感染予防をしっかりと実施しながら、午後のひとときを楽しんでいます。昼食後は、思い思いにトランプしたり、ぬり絵をしたり、背中を伸ばしたり・・・おしゃべりにも花が咲き、和やかな笑い声も絶えません。

輪投げ



★輪っかでキャッチ



★風船バトミントン



★的当て



グループリビングあけびの里

訪問看護ステーションあけび

訪問介護ステーションあけび

長野県の特別養護老人ホームで、おやつのでんぱを食べた後に入所者が意識を失い、その後死亡、その場にいた准看護師を業務上過失致死罪で送検・起訴された。長野地裁の一番は有罪判決を出しましたが、東京高裁は逆転無罪とし、検察は上告を断念し、無罪が確定した。弁護団長は「この裁判は准看護師一人だけのものではなく、入所者が食べたいものが食べられなくなり、人としての尊厳が守られなくなるという介護の未来をかけたものだった」と強調された。また、「高裁の逆転無罪判決は、おやつと食事が『精神的な満足感や安らぎを得るために有用かつ重要』と述べ、介護の萎縮を払拭させた。」と述べておられます。デイサービスや入居施設においては、日常的に起きる問題だけに、大きな問題定義が投げかけられたように感じました。いつも危機感を持って接しているゆえに「家に持って帰らないでください」「部屋に持って帰らないでください」「部屋で一人で食べないでください」とか危険を回避するための言葉をついつい発しています。もしもと思うとあえて「かまいませんよ」とは言いづらい。一見正論に見えるこの言葉にたより、自分自身の保身に走っていないだろうか。あけびの理念の中に、「人として尊厳ある日常生活を送れるように……」とある。今一度問いかけてみませんか



木下素子氏



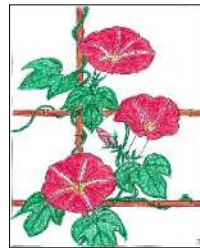
光岡一正氏



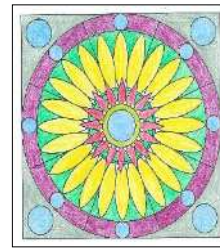
橋本幸子氏



木村美貴子氏



筒井順子氏



永井みさ子氏



寺下典子氏

先月のあけび便りでご紹介しました野崎園子先生が、関西労災病院リハビリテーション科の西村先生と一緒に見学に来てくださいました。リモートでの診察になりますが、診察室で見る患者さんと家での様子の違いを見ながら、リハビリのアドバイスができないかということです。

家族の方にも理解していただく良い機会になると思います。リモートのできるご家庭はぜひ一度お試し下さい

NPO法人あけび 079-262-6702 (林)

☆14年前、有志の方々によりあけび専属の『ボランティアサークル輪と和』が結成されました。それから14年の間、温熱療法・送迎車の清掃給油・畑のお世話・調理補助・行事のお手伝い等など、あけびの運営を助けてくださる強い味方です！ボランティアの皆さまの朗らかな笑顔と人生経験がどれ程あけびを支えてくださっている事が、感謝しても感謝しきれません！！これからもよろしくお願ひします。

お知らせ

パーキンソン病友の会 兵庫県支部姫路ブロック

*9月患者・家族交流会
9月19日(日) 13時～
場所 あけびの実
会費 ご家族で500円

医療相談会

西播磨病院
水田英二先生
日時：9月20[月]
13:00～(要申込)
場所：あけびの輪

職下指導・相談会

日時：9月11日[土]
場所：あけびの里
昼食を取りながら見ていただきます。
申し込みが必要です。
tel079-280-6931
fax079-280-6932



「卓球クラブ」9月練習日

9月 21日(火)

場所：ルネス花北体育館
持物：上靴・ラケット

連絡先 (280-6931)